

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月27日

【評価実施概要】

事業所番号	3870300906		
法人名	(有)エンジェルハウス		
事業所名	グループホーム紙ふうせん		
所在地	宇和島市三間町成家 8 4 5 番地 (電話) 0895-20-7575		
管理者	松岡 敬子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成20年8月11日	評価確定日	平成20年10月27日

【情報提供票より】 (平成20年7月30日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月11日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤	20人, 非常勤 2人, 常勤換算 18.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成20年7月30日現在)			
利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	5 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82.5 歳	最低 64 歳	最高 92 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、利用者から昔の料理や料理の味付けを教わることが多い。農業をされていた方から畑仕事の指導を仰ぎながら、作業をされている。利用者の笑顔が引き出せるよう、冗談等も交えた話し等もされている。利用者から「ありがとう」と言われると職員も笑顔になる日々である。職員は、利用者から囲碁を教えていただき対局されている。
 食事やおやつの時間になると、利用者が自然とテーブルに着き、食事が始まるという様子がうかがえた。昼食後、利用者は、テレビを見たり、デッキで過ごされたり、居室で過ごされたり、デイサービスに遊びに行かれる等、それぞれに過ごしておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果は、職員全員に口頭で伝えられた。運営推進会議を開催された。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・職員から日々のケアについて聞き取り、管理者が自己評価をまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
・運営推進会議の開催に漕ぎ着け、いろいろな立場の方の出席をいただき、意見をうかがえるようになった。話し合いの内容は、次回の会議で経過報告をされる等、具体的な取り組みにつなげておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
・毎月の近況報告の他に、年4回、事業所新聞で利用者の日々の様子を知らせておられる。遠くにお住まいのご家族でも月1回は来訪があり、直接日頃の様子を報告されている。体調の変化時には電話で連絡をされている。ご家族の来訪時には、管理者が直接会ってお話出来るよう努めておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・近くの保育園や小学校との交流の他にも、事業所で行う納涼祭は、回覧板やチラシで案内され、地域の大勢の方達が集まり楽しまれた。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム紙ふうせん

(ユニット名) A

記入者(管理者)
氏名 松岡敬子

評価完了日 平成20年7月30日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			住み慣れた地域の中で、職員と利用者が、日々、思いやりと笑顔で、穏やかな生活が送れるような支援をしていく		
			(外部評価)		
			「紙ふうせんのような丸い心で、利用者も職員も笑顔で毎日が過ごせるように」との思いを込めて、理念を作られている。		さらに、事業所では、この機会に地域密着型サービスとしてのあり方を、今一度考えてみようとしていいる。貴事業所が地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、この機会を、すべての職員で話し合う機会にされてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念に沿って介護をするようにしているが、慣れを防止するため常に初心に戻り、職務に専念するように指導している		
			(外部評価)		
			玄関に、丸い文字で理念を掲示されている。管理者は、折にふれ職員に、理念に沿ったケアについて話されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族や来訪された方に、パンフレット・ホーム日より等で説明している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に気軽に声かけ、立ち寄っていただき、また、季節の野菜や花々もいただいたり、季節の花を見物させてもらっている		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域での行事に参加、小学校、保育園との相互交流例：そうめん流し、お月見会などホームでの行事(納涼祭)には、親子、家族、地域の方々との交流を深めている (外部評価) 近くの保育園や小学校との交流の他にも、事業所で行う納涼祭は、回覧板やチラシで案内され、地域の大勢の方達が集まり楽しまれた。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ホームでの行事には、地域の方に回覧板等で案内し、参加していただいている また、同敷地でデイサービスをしているので、その利用者との交流もしている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価に基づき、改善点などを、ミーティング・スタッフ会議等で議題として話し合い、改善するように努めている (外部評価) 職員から日々のケアについて聞き取り、管理者が自己評価をまとめられた。前回の評価結果は、職員全員に口頭で伝えられた。運営推進会議を開催された。		サービス評価のプロセスを、貴事業所のさらなるケアの質の向上に、つなげていけるような取り組みが期待される。今後、評価結果や家族アンケート集計表等も活用されてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営、サービス内容を説明し、それに対する質問、意見を参考に、サービスの向上に努める</p>		<p>今回初めて運営会議を開催し、今後、一層質の向上を目指した取り組みをしたい</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(外部評価)		
			<p>運営推進会議の開催に漕ぎ着け、いろいろな立場の方の出席をいただき、意見をうかがえるようになった。話し合いの内容は、次回の会議で経過報告をされる等、具体的な取り組みにつなげておられる。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>成年後見制度は、研修会やミーティング等で勉強会をしている</p>		<p>地域福祉権利擁護事業の内容については、利用もなく未勉強なので、今後、研修会等に参加し学びたい</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>研修会等に交代で参加し、ミーティング等で勉強会を開催し、各自防止に努めている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時に説明し、理解・納得の上、同意を得ている 特に、重度化した時の看取りについては、なお一層詳しく説明した上、同意を得ている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見等を聞き、その内容を管理者・職員等で検討し、運営に反映するようにしている 意見箱を設置している		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月の請求書の送付時に、各利用者の近況報告を同封している 来訪家族には、その度、報告をしている 年4回の新聞を発行し、家族に送っている		
			(外部評価) 毎月の近況報告の他に、年4回、事業所新聞で利用者の日々の様子を知らせておられる。遠くにお住まいのご家族でも月1回は来訪があり、直接日頃の様子を報告されている。体調の変化時には電話で連絡をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱や電話、来訪時にいただいた意見等を、ミーティングなどで話し合い、改善に向け反映している		
			(外部評価) ご家族の来訪時には、管理者が直接会ってお話が出来るよう努めておられる。		ご家族の思いをさらに引き出せるようにと、家族会の設置も検討されている。ご家族の立場に立った会となるよう、ご家族の意見も聞きながら、すすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝の申し送り、職員のミーティングには、管理者は必ず出席して意見を聞き、改善に反映している		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要に応じ職員の確保・調整をして、利用者の生活に支障のないよう対応している		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) Aユニットの職員は常に馴染みとなっており、また、異動の場合にも利用者にダメージを与えないよう、他の職員が関わるようにしている 定期的な異動を行い、全体の把握が出来るように務めている (外部評価) 2つのユニットの利用者を全職員で支える、という管理者の考えのもと、ユニット間で職員は異動するようになっている。		現在、職員の異動時に利用者のダメージはないとのことではあるが、環境の変化に馴染むことが難しくなる認知症の利用者にとっての「落ち着ける、居心地の良い環境」について、時に考えてみてはどうだろうか。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 各種研修には職員が交互に受講し、発表の場はミーティングで行い、自己研鑽に努めている (外部評価) 職員間で外部研修の案内を回覧し、交代で参加されている。事業所内では、見守りは見るのではなく守ること、薬は名前や効果を知った上で支援するよう指導されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>宇和島市のグループホーム連合会に常時参加し、交流に務めているネットワーク作り、勉強会に務めている</p>		<p>今後、相互訪問等ネットワーク作りをし、質の向上に努めたい 受け入れ事業所等検討中</p>
			(外部評価)		
			<p>町内のグループホームの管理者と情報交換をされている。又、市の連絡会には管理者と職員が参加されている。</p>		<p>近いうちに相互訪問を予定されている。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>職員休憩室もあり、気分転換が図れるようにしている 運営者は、日常会話の中から職員のストレスや悩みを聞き、軽減に努めている</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>運営者も、日々利用者、及び各職員の健康状態・勤務状況等を把握し、また、職員の資格取得に向けた支援をし、職場で活かせるようにしている</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>体験入居をしていただき、ご本人から不安や希望等を聞き、ご家族とも信頼関係が出来た上で入居決定、その後も継続している</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者の体験入居や各種相談、話し合いに応じ、納得の上利用していただき、その後も継続し対応している		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時によく話し合い、必要とする支援を重点的に対応するように務めている		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者ご本人の不安を徐々に緩和しながら、他の方とのコミュニケーションがとれるようにしている (外部評価) 入居予定者には、できるだけ事業所の様子を見ていただき、納得の上で入居いただけるよう取り組まれている。入居前には、自宅等を訪問し、ゆっくりお話を聞くようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ご本人の得意とする分野を引き出し、共に話し合ったり手伝っていただき、職員も常に家族の一員として接し、日々過ごしてもらうようにしている (外部評価) 職員は、利用者から昔の料理や料理の味付けを教わることが多い。農業をされていた方から畑仕事の指導を仰ぎながら、作業をされている。利用者の笑顔が引き出せるよう、冗談等も交えた話し等もされている。利用者から「ありがとう」と言われると職員も笑顔になる日々である。職員は、利用者から囲碁を教えていただき対局されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の希望と共に、ご本人が安心して生活出来るよう、職員も家族の一員として喜怒哀楽を共にしている		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族にはいつでも気楽に来訪していただき、外泊・外出もされ、今までの生活と変わらないように支援している 来訪困難な方には、手紙・電話で近況をお知らせしている		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ご家族はもとより、親戚・友人にもいつでも来訪していただき、外出等もあり、関係の継続をしている		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 出来るだけフロアに出てもらい、他の利用者とのコミュニケーションを取ってもらえるよう、職員が利用者同士の会話に入ったり、関わりあえるよう支援している		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了(死亡)されたご家族の方が、時には来訪されたり再入所の申し込みなどがあり、利用者・職員との友好を続けている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの思いや希望を、日々の生活の中から把握し、対応するよう努めている意思表示困難な方には、その人本位に対応している</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居時、ご本人とご家族から、これまでのことについてお話を聞き取り、アセスメントをされている。</p>		<p>さらに、日々の利用者とのかかわりの中で得た情報を集めて、全職員で利用者個々の思いや意向の把握に努めていかれてはどうだろうか。又、そのような情報を介護計画等、日々のケアにつなげていかれるような取り組みが期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々、生活の話の中から、一人ひとりの今までの暮らしを把握し、その人に応じたサービスを心がけている</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの日々の介護記録・バイタルチェック等により、健康状態を把握するようにしている また、生活歴を活かした支援をするようにしている</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>週1回のミーティングと月1回のスタッフ会議、日々の申し送りの意見の中から声を反映し、計画している</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時や電話で計画について相談し、職員からはミーティング時等に情報を集め、ケアマネージャが介護計画を作成されている。</p>		<p>さらに、今後、計画内容の表現について、利用者や職員に分かりやすくなるよう、工夫したいと考えておられた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			職員間の情報、ご本人・ご家族の希望を取り入れ、随時見直しを行い、状態の変化が生じたときには、その都度検討・見直しを行っている		
			(外部評価)		
			3ヶ月に1回見直しを行い、体調変化時には、その都度見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活状態を介護記録に記入し、その情報を共有しながら、見直し・実践している		記録の書き方を勉強していく時間を取り入れ、記録の充実と統一を図りたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ご本人・ご家族の状況に応じ、通院時の送迎等、必要時には柔軟な支援をしている		
			(外部評価)		
			ご家族の都合のこともあり、職員が利用者の通院介助を行うことが多い。外出の希望は、すぐ対応できない場合もあるが、時間を見ながら実現に向けて、すすめるようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の保育園児・小学生にも相互の行事に参加したり、ホームへも小学生が年に数回、掃除や利用者との交流のボランティアに来訪していただいている		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人やご家族の希望により、散髪等にサービスの活用を利用している		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター開催による研修会・説明会等を受講し、さらなる質の向上に努めている		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前よりのかかりつけ医、また、ご本人・ご家族と相談の上、近くの指定医院に変更したり、夜間・緊急時にも対応出来るようにしている		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常時かかりつけ医と気軽に相談しながら、指示や助言ももらったり、診断・治療を受けられるようにしている 往診の受け入れも可能である		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、日々、利用者の健康管理や状態の変化に応じた支援をしている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院関係者と相談しながら、早期退院等に向けて支援している		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化や終末期に医療行為が発生した場合をふまえて、事前に、ご本人・ご家族、かかりつけ医と話し合いを行って支援している (外部評価) 事業所では、ご本人やご家族に「寝たきりになっても支援する」ことを説明されているが、24時間の点滴等、医療行為が必要になった場合は、再度、話し合いを行うようにされている。		将来的には、看取りの指針を作成することを検討されている。さらに、利用者やご家族の安心解消に向け、事業所でどのようなことができるかということについて、話し合われてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療行為が発生しない限り、利用者が安心して生活出来るように常にかかりつけ医の指導のもと、職員は互いに勉強会や話し合いをし支援している		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご本人・ご家族、かかりつけ医、職員とで話し合い、情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりその人に合った対応をしている 個人情報での秘密の守備は職員間で周知徹底し、プライバシーの確保をしている</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>利用者の服装の乱れ等にも、職員は、そっと直されていた。管理者は、職員に、一切事業所内の情報を漏らさないよう指導されている。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者に合わせて声かけをし、要望を聞き、それぞれに合った援助予定を計画しながら支援している</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりした食事時間・外気浴・ホールでのテレビ鑑賞や他の利用者とのお話、各部屋の訪問等、各希望を支援している</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>食事やおやつの時間になると、利用者が自然とテーブルに着き、食事が始まるという様子がかがえた。昼食後、利用者は、テレビを見たり、デッキで過ごされたり、居室で過ごされたり、デイサービスに遊びに行かれる等、それぞれに過ごしておられる。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 身だしなみはご本人が行い、介助が必要な方は意見を聞き支援している ご本人の希望する理・美容等、連携をしている		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑で採れた季節の野菜を利用し、調理している利用者の方にも準備・味付けをみてもらったり、片付け等一緒にしている (外部評価) 食事は、畑で収穫した野菜等を採り入れ考えておられる。利用者は、じゃが芋の皮むきや豆の筋とりをされていた。時間になると、テーブルを拭き、配膳をされる男性利用者もおられ、食事に時間のかかる方もゆっくりと食べておられた。		出来るだけ鮮度のいいものを利用し、冷凍食品などは使用しないように心がけている
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつ時、飲み物の希望を聞いたり、手作りおやつを作り、楽しいティータイムにしている		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄・排便の記録をし、様子観察を行いながらトイレに誘導したり、おむつ使用の方は定期的に変えている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 曜日や時間帯は、利用者の体調を見て変更するようにしている デイサービスにある大きな風呂をゆったりと利用してもらっている		
			(外部評価) 利用者の希望で入浴を支援されており、現在は、午後、デイサービスの大きなお風呂を楽しまれる方がほとんどである。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて、長椅子や自室で横になったり、自由に休息してもらえるよう支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとり、その人に応じた趣味等を活かすように支援している		
			(外部評価) 保育園児の姿を見るとシャキッとされる方もいる。縫い物・洗濯物たたみ・料理の味付け・畑の指導・収穫等、それぞれの得意分野が役割となっている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その人に合わせて、外出時等に、少額だが自由に使ってもらっている ご家族の許可の上		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日の希望には沿えないが、出来る限り戸外に出かけるようにしている 近くにある保育園・四国八十八ヶ所等散歩に行ったり買物に出かけている。		
			(外部評価)		
			気候や天候を見て散歩に行かれている。立地条件のこともあり、買い物や公園等、離れた場所に出かける際には、車を使って外出されている。入浴を行わない日を定め、外出希望を聞き、出かけておられる。		さらに、利用者個々の行きたいところを探り、外出支援される等、ご本人の意欲につながるような支援も期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			良好の季節には、花見や神社、仏閣、公園等にほぼ全利用者・職員で出かけるようにしている ご家族との外出は自由にしている		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は、ご家族からかかってきた時のみ取り次いでいるご本人がかけられる場合は、ご家族の了解の範囲内でかけている		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			出入りはいつでも自由にしているので、気軽に来訪されている(鍵はかけていない) 来訪時には茶菓子でもてなしをして、各部屋で過ごされるようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全職員が身体拘束をしない介護をしており、また、勉強会等に参加し、なお一層研鑽をしている		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日々、玄関や出入り口には日中鍵をかけず、自由に出入り出来るようにしている 玄関にはチャイムを設置し、声かけ、見守りで安全面での配慮をしている (外部評価) 昼間は、施錠せず自由に出入りできるようになっている。玄関にはチャイムを設置し、今まで、利用者が道路まで出られるようなことはなかった。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ホーム内での行動は自由だが、常に所在は把握しており、声かけ、見守りはしている 夜間には時間を決め、訪室している		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意を必要とする物品は、利用者の目の届かない所に保管・管理している その人の状態に応じて、職員も一緒に見守りしている		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) その人に応じた事故防止には、職員全員が声かけ、見守りの強化をしている。 万一事故が発生した時は、報告書を作成し、事故委員会を通じて、今後の対策として話し合いをしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 研修会に参加、ミーティング、スタッフ会議時に、急変、及び事故発生時の対応について勉強したり、スタッフルームにも掲示している		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 総合防災会社の協力で防災防火訓練を定期的に行っている (外部評価) 防災訓練を実施された。いざという時、地域の消防団の方が駆けつけてくれることになっている。又、近くに住んでおられる管理者や職員が駆けつけることになっている。		今後、防災訓練時に、消防団の方に来ていただいて、事業所の様子を知ってもらうことを検討されている。又、近所の方達の協力等もいただけるよう、運営推進会議等でも話し合われてみてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりのリスクについては、入居時又は、家族が来訪された時などに対応策などを説明している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりのバイタルチェック表の確認、顔色等、体調の変化を見落とす事なく、気付いたときには速やかに対応している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの薬箱を準備し、そこに処方箋明細を入れ、内容を把握し、変更時には申し送りノートや介護記録に記入し確認している</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>バイタルチェック表や本人に確認の上水分の補給や、食物繊維の摂取等、又、軽い運動を促し、出来るだけ自然な排便が出来るようにしている</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後口腔ケアを声かけ、見守りで行っている。就寝前には入れ歯の洗浄も行い、夜間ははずしている</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの毎食後の摂取量を記録したり、その人に応じた調理方法を工夫し、摂取しやすくしている。又、移動困難な方には、ペットボトル等に白湯、お茶など用意している</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員が献立を立てるようになってきている。利用者は、食欲があり、一時体重がかなり増加したこともあり、現在は、主食を減らし、おかずの品数を多くされている。水分はいつでも飲めるように、手の届くところに置くことに心がけておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感染症に関する勉強会を開き、各流行時には予防方法などを掲示したり、玄関でのうがい、手洗いに協力してもらっている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材は新鮮な内に使い切るよう日々冷蔵庫内の食品の点検、冷蔵庫内及び調理用具を定期的に消毒し、衛生面に十分注意をするよう努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自由に出入り出来るよう施錠はせず、チャイムを設置。玄関には洗面台を設け衛生面にも気を配っている。路面に面した所には、デッキがあり、利用者が外気浴を楽しんでいる。近隣の方、農作業をされている方、通学の生徒、八十八ヶ所参りのお遍路さんなどに気軽に声をかけあっている</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、食堂などには、その時々草花を飾った、窓ガラスは、特殊なものを使用しており、暑さや寒さを予防したり、プライバシーの保護にも気配りしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>花壇には、ご家族から頂いたみかんの木が育ち、畑には季節の野菜が育っていた。デッキが広く東屋もあり、お遍路さんの行き交う姿もあった。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共同空間には、各自の椅子の他に、畳の間やソファを設置している</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			部屋を広く利用するために、クローゼットを設置し、必要最小限のものを身近なところに置き、本人が使いやすいようにしている		
			(外部評価)		
			利用者は、必要に応じてベッドをレンタルされており、転倒の危険がある方は床にマットを敷くようにされている。収納ボックスや仏壇を持ち込まれたり、植物を鉢に植え育てておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			時間帯により、窓を開放して換気を行ったり、利用者の状態を見ながら温度調節を行っている		外部との温度差を感じない程度に温度設定し、24時間暖冷房をつけている。特に寒い時期は居室、トイレ、など各部屋の温度差が一定になるよう温度調節に気をつけている
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下、トイレ等には手すりを設置し、転倒の予防や、歩行練習などにも利用しながら安全に過ごせるよう配慮している		フローアなど出来るだけ大きなものは置かないようにし転倒時のケガなどの予防に努めている
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせ、自立への促しや手助けをしたりしながら状況に合わせて行っている		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには屋根を作り、机、椅子を置き、時には気の合った利用者で楽しくお茶を飲んだり、草木、花、野菜を植え、鑑賞したり、収穫の喜びを味わっている		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員は日々の生活の中から、利用者一人ひとりの意向を掴んで支援している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	短い時間だが一緒に雑談をしたり、歌を口ずさんだり、テレビを観たりしながら穏やかに過ごしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとり自分に合ったペースで暮らしている。ホールで他の利用者と一緒にテレビを観たり、雑談したりしながら自由に過ごしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その人にあった趣味等を把握して支援している日々の繰り返りで表情が豊かになっている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	戸外に出かけるときは、必ず職員(家族)が同行し、車椅子の方が多いので、計画を立てながら平等性に努めている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、表情、食事の摂取量に注意し、又、定期的を受診し、変化が見られた時再度受診し、その結果を家族に報告・対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出、外泊、受診、電話など利用者の要望に応じた支援で安心して暮らしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族が来訪時、近況を報告し、家族からの要望などを聞きながら対応し、信頼関係を築いている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の知人、友人が気軽に訪ねて来て、会話がはずんだり、又、近隣の保育園児、小学生の訪問もありその時の笑顔はひとしおである

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ② ① ③ ④	今後、委員会の方の協力により、理解、応援者が増えるよう努力する
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ① ② ③ ④	全ての職員が得意分野(料理、手芸、園芸など)を活かし、利用者と日々、共に生 活している
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ① ② ③ ④	利用者がその都度良し悪しを口答で言っていた時に対応し、 その時の表 情、態度等で満足度が分かるサービスの向上を図りたい
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ① ② ③ ④	来訪時や電話等の会話の中から、満足していただいているのではないかと思われ る。なお一層のサービス向上に努めたい

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

地域の保育園、小学校との交流会、地域の住民を招待しての納涼祭など地域への参加。又、施設だより等により、利用者の状況報告や、その他の連絡事
項に関しても、家族と密に取りながら、信頼関係を維持している。職員のミーティング、勉強会なども定期的に行い、事故防止やサービスの向上を目指して
いる